

湯浅 「奇跡ではない」

W杯スキー

男子回転

【マドンナデイクンピリオ(イタリア) 共同】18日、イタリアのマドンナデイクンピリオで男子回転第3戦を行い、29歳の湯浅直樹(スポーツアルペン)が3位に食い込み、自身初、日本勢ではアインズンぶりとなる表彰台に立った。

▽男子回転第3戦(18日・マドンナデイクンピリオ(イタリア))
①マルセル・ヒルシヤ(オーストリア) 1分42秒50(52秒07、50秒43)
②イロイター(ドイツ) 1分44秒17
③湯浅直樹(スポーツアルペン) 1分44秒78(54秒13、50秒65)
(ルシヤは今季優勝、通算14勝目) 佐々木明(IOC I石井スポーツ)は1回目に途中棄権 【共同】

実結改良り滑り 表彰台初の



いちかばちかの攻めで 輪の7位入賞をつかんで 2006年トリノ冬季五 から、速さと確実性を両

立させようと滑りを改良 してきた。その成果がよ ーバー五輪は出場を逃し



①鋭いターンで急斜面を滑走する湯浅＝ロイター ②W杯で自身初の表彰台となる3位と健闘＝A P

◇アルペンスキーW杯◇ 3位以内の日本選手

【男子】

1988年	岡部 哲也	回転 2位
90年	岡部 哲也	回転 3位
98年	木村 公直	回転 3位
2003年	佐々木 明	回転 2位
06年	佐々木 明	回転 2位
	佐々木 明	回転 2位
12年	湯浅 直樹	回転 3位

【女子】

1993年	川端 絵美	滑降 3位
-------	-------	-------

(注) 複合は除く 【時事】

だが、11年世界選手権で6位、昨季W杯で2度の5位と着実に進歩してきただけに「これは奇跡ではない」と強調した。アルペンW杯の常連でただ一人使用する日本メーカーのスキーを自在に操り、冷える夜の急斜面を切り裂いた。1回目は26位だったが、2回目は2番目のタイムをマーク。素早いターンで方向を変えて次の旗門を狙い「いつもの僕らしい滑りができた」と誇らしげだった。

ライトナー・チーフコーチが「本当ならば、4カ月は休ませたい。滑れているのが信じられない」と言うほどの腰痛を抱えながらの快走で、上位15人の第1シード入りにあと一步と迫った。来年2月の世界選手権は過去にトップ10が3度ある相性のいいシュラートミング(オーストリア)だけに期待がふくらむ。